

気候変動シンポジウムのお知らせ

—気候の診断と問題点—

| | | | |
|-------|---|-----------------------------|--|
| 日時 | 12月8日(月) 13.00~17.00 | ア. 歴史時代 | 吉野正敏(筑波大地球科学系) |
| 場所 | 日本学術会議大会議室(F2) | イ. 観測時代(含大気循環の変動) | |
| 主催 | 日本気象学会, 海洋学会, 雪氷学会, 地理学会, 日本学術会議世界気候小委員会, 文部省科研費, 環境科学特別研究検討班 | 2. 異常天候の解析 司会 | 星合 誠(愛知学院大) 朝倉 正(気象庁長期予報課) 浅井冨雄(東大海洋研) |
| 後援 | 気象庁(予定) | 3. 海水温の長期変動 | 長坂昂一(気象庁海洋課) |
| プログラム | 開会の辞 山元竜三郎(京大理) 話題提供 司会 内田英治(気研予報) | 4. 日射量の長期変動 総合討論 閉会の辞 | 田中正之(東北大理) 岸保勘三郎(東大理) |
| | 1. 気候変化の実態 | | |

昭和55年度国際通信研究奨励金の募集

昭和55年度国際通信研究奨励金について、次の通り公募の案内が来ています。

(1) 研究奨励金

1. 目的

国際電気通信に関する基礎的または応用的調査研究を行う個人または団体に奨励金を贈呈し、その調査研究を奨励推進する。

2. 調査研究計画

国際電気通信の進歩改善および合理的利用のための独創的な内容であって、その成果が国際電気通信業務の将来の発展に寄与するであろうと認められるを期待する。いくつかの学問領域にわたる、いわゆる「学際研究」も含む。

3. 奨励金の額

本年度は総額1,500万円程度で、これを5件程度の

調査研究計画に対して贈呈する予定。

4. 発表

財団の選考委員会において選考のうえ理事長が決定し、昭和56年3月上旬に発表する予定。

(2) 応募方法

1. 所定の「申請書」にて応募する。

2. 「申請書」の請求および送付先

財団法人 KDD エンジニアリング・アンド・コンサルティング

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号

KDD ビル 電話 (03) 347-7859

3. 応募締切日

「申請書」の提出期限は、昭和55年10月31日(金)までに到着のこと。

正誤表 (つぎの通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

| 巻号 | 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|--------|-----|--------|--|--|
| 27. 7. | 504 | 右26~27 | 島山監修(1964): アジアの気候, 同じく(1972): アフリカの気候は, | 島山監修(1964): アジアの気候, 土屋巖ほか(1972): アフリカの気候は, |
| 27. 7. | 506 | 右 17 | —, 1972: アフリカの気候, 古今書院, 637 p. | 土屋巖, 青木宣治, 落合盛夫, 河村武, 倉嶋厚, 1972: アフリカの気候, 古今書院, 637 p. |

8月号の『続・気象学への手引 発刊のお知らせ』中の郵送料は、160円に訂正します。